

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

埼玉県川口市 川口西公園地下公共駐車場

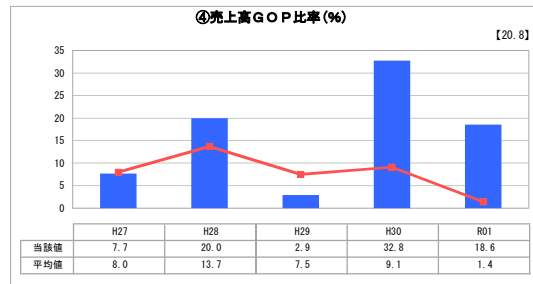
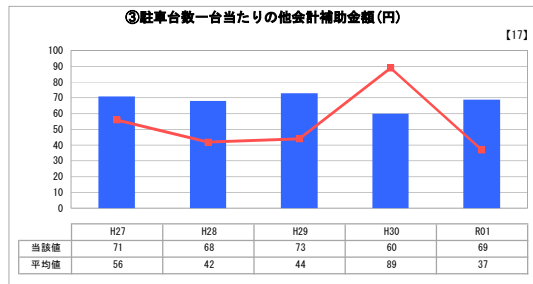
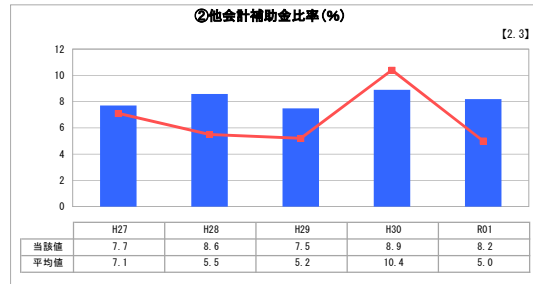
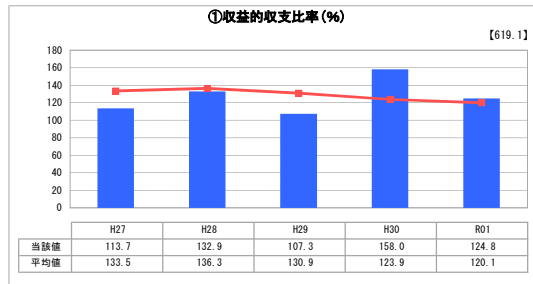
| 業務名         | 業種名     | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
|-------------|---------|-----|-------------|--------|
| 法非適用        | 駐車場整備事業 | -   | A2B1        | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類      | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 都市計画駐車場 | 地下式 | 29          |        |

| 立地      | 周辺駐車場の供給実態調査   | 駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) |
|---------|----------------|--------------------------|
| 駅       | 無              | 6,636                    |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入               |
| 164     | 400            | 導入なし                     |

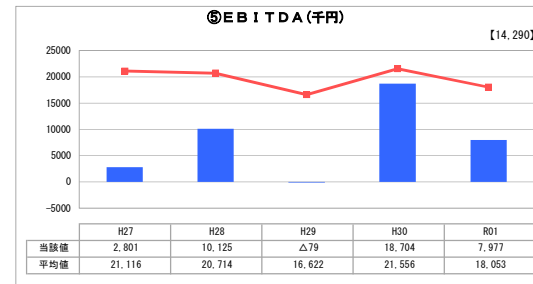
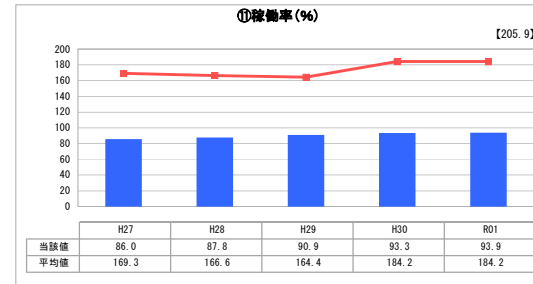
**グラフ凡例**

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 分析欄

### 1. 収益等の状況について

①収益的収支比率については、総費用の増加により前年度より低下しましたが、100%を上回っており、健全性は確保されております。  
 ②他会計補助金比率、③駐車台数一台当たりの他会計補助金額については、全国平均及び類似施設平均を上回っておりますが、他会計からの補助の内容は職員給与費と障害者の料金減免分であり、経営上大きく影響するものではないと考えております。  
 ④売上高GOP比率については、営業費用の増加により前年度より低下しましたが、類似施設平均を大きく上回っており、収益性が確保できているものと考えます。  
 ⑤EBITDAについては、総費用の増加により前年度より低下し、全国平均及び類似施設平均を下回っており、本業の収益性は低い水準であることから、経営改善に向けた取組が必要と考えられます。

### 2. 資産等の状況について

⑥有形固定資産減価償却率については、当施設は地方公営企業法非適用事業であるため、指標は算出されません。  
 ⑦敷地の地価については、当施設は公園の地下にあるため、地価は公園の固定資産台帳に計上されており、当施設では算出されません。  
 ⑧設備投資見込額については、設備のライフサイクルコストを基に作成した中長期修繕計画により今後10年間の投資見込額を算出しております。  
 ⑨累積欠損金比率については、当施設は地方公営企業法非適用事業であるため、指標は算出されません。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率について、当施設は企業債残高がないため、指標は算出されません。

### 3. 利用の状況について

①稼働率について、当施設は全国平均及び類似施設平均を大きく下回っており、時間貸しの駐車場施設としての需要は大きいとはいえませんが、利用台数は増加傾向が続いております。  
 一方で、定期利用の需要は高く、マンション建設等により周辺人口の増加も見込まれ、今後も定期利用の需要は増加すると考えられます。  
 したがって、時間貸しと定期利用の需要や収益性のバランスを考慮し、定期利用の上限台数の見直し等により、効率的な運営を図ることが必要だと考えております。

## 2. 資産等の状況

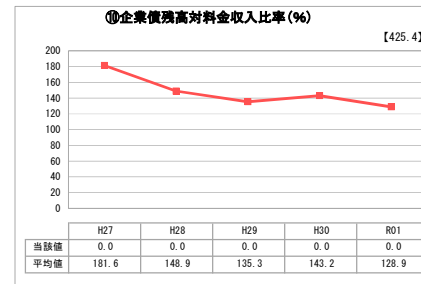
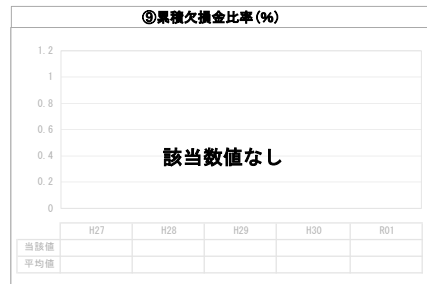


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

252,371



### 全体総括

当施設については、川口駅周辺の駐車場不足に起因する道路機能の低下を解消し、交通の円滑化と健全な都市機能の更新を目的として、平成3年度に設置されたものであります。  
 収益等の状況については、設備改修等の有無により、経年比較において大きく変動する傾向がありますが、今後も経年劣化による設備更新等が増加する見込みであることから、中長期の修繕計画により収支を平準化することで、安定した経営を目指してまいります。  
 また、利用の状況としては、利用台数は増加傾向にあるものの、稼働率は低い状況が続いており、施設の効率性には問題があると考えられるため、さらなる利用促進を図ってまいります。